

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2023年2月10日

No 422

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

41年ぶりの物価高春闘！

リモート含め50人が出席

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、1月21日(土)午後1時15分～4時55分にかけて都内「北多摩西教育会館」3F大会議室にて、「23春闘、電機の集い」を開催しました。この集いには、11企業30職場・5団体から50人（昨年44人）が参加し、リモートは35人でした。



23春闘で10%・3万円の賃上げ

司会は電機懇相原事務局次長が行い、電機懇今井代表は主催者挨拶で「食料品は10%近くも高騰しており労働者が納得できる要求を掲げて勝ち取ろう」「ジョブ型導入は新しい搾取であり、労働者が安心して働ける環境を」と強調しました。

電機・情報ユニオンの米田委員長が連帯挨拶で「労働者を選別しての賃下げや個別リストラに対して、ビジネスと人権など国際労働基準に基づく闘いを取り組もう」と訴えました。

1部はアンケート結果、2部は職場交流

第1部は、電機懇林事務局次長が、23春闘「要求アンケート」185枚（昨年210枚）の集計結果の特徴について「生活の苦しさ」が63%（昨年58%）、老後・年金不安が39%、賃金の改善が55%、今年新設のジョブ型雇用については「反対と賛成が半々」と報告しました。

続いて、電機懇「23春闘提言」（2Pに骨子掲載）は電機懇井坂正敏政策委員長がポイント報告を行い、電機・情報ユニオンの「23春闘方針」を森英一書記長が報告しました。

第2部は、電機懇井坂政策委員長が「闘える労働組合運動再生のあり方を考える」を報告しまし

た。職場報告は、日立から「海外でのM&Aを成長投資と進め国内の子会社を減少され企業理念に反する」と告発。富士通から「22年4月にジョブ型雇用が導入され初の年間評価が行われるので注目したい」。NECから「24年に全面实施されるジョブ型人材マネジメントの問題点」を指摘。沖電気から「派遣社員が経営施策の調整弁にされている」と告発。ルネサスからは「春闘に向けてアピールポイントを決めた」と報告されました。

続いて井坂報告を受けて現職との懇談を行われる「大昔に労組がストライキがあった」「組合員の声メールで出されている」等が出された。

谷口事務局次長が本日のまとめを行い春闘の統一ピラを取り組もうと訴えました。高田副代表が23春闘での奮闘を呼びかけ、団結がんばろう三唱で閉めました。

今月号の紙面

- ① 23春闘「電機の集い」を開催
- ② 23春闘・電機懇提言のポイント
- ③ 23春闘で「経団連」包囲行動
- ④ 電機懇「資料センター」紹介
- ⑤ 「東芝の会」新春の年次総会開催
- ⑥ ラプラス「鹿沼市秋祭り」桑川さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 23春闘統一ピラ配布。春闘集業界団体要請行動。集積回路。